

秋 田 県 農 業 法 人 協 会

令 和 5 年 度 事 業 計 画

[令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日]

【活動方針】

今般の新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、以前のような社会経済活動を取り戻し農畜産物の需要拡大へ期待が高まるものの、長引くウクライナ情勢により世界各国は肥料原料の調達に奔走しており、輸入依存度の高い我が国の農業経営者は、価格高騰など多くの影響を受けながら、先行きの見えない不安を抱え営農しています。

こうした中、人口減少社会が続く我が国は、国民の食料の安定供給・確保に向けた「食料・農業・農村基本法」の検証・見直しを進めており、消費者への国産農畜産物の需要拡大や情報提供を行い国民の理解醸成を図りながら、食料安全保障や価格形成の在り方に関する論議を注視していく必要があります。

一方、本県の認定農業法人は848法人と増加しているものの、役員等の高齢化も進行していることから、県では経営力を兼ね備えた意欲ある経営体が地域農業の担い手として発展するよう、持続的かつ効率的な生産体制と農地のフル活用により食料供給を担っていく農業経営を支援するとしています。

このため、我々は県内800余りの農業法人のトップランナーとの自覚を持ちながら、日本農業法人協会会員として創意工夫による農業経営を展開し、農業を職業として誇り、若者にとって夢や希望を託せる魅力ある産業に発展させるために、関係機関等との業務連携を始め賛助会員の皆様の協力を通じて、会員の多様な経営スタイルに合わせた経営安定・発展及び経営改善に繋げるとともに、全国及び県内の仲間と共に情報ネットワークを駆使して、会員相互の研鑽活動や連携・強化を図る活動を展開します。

【主要活動】 ~農業界が職業として若者に選ばれる第1位の業界に~

- 1 食の守り手として、会員の経営力強化と相互研鑽
- 2 賛助会員、協定締結関係機関等との連携・協調
- 3 日本農業法人協会秋田県支部として、地元貢献及び会員拡大

【活動内容】 ※ 感染症の感染拡大状況により変更等が生じる場合があります。

1 会議の開催

(1) 総 会《第30回》

令和5年度事業計画・予算や役員の新規選出等を決定するため、総会を開催する。併せて、総会記念講演を兼ねて農業経営者トップセミナーを開催する。

- 期 日 6月27日(火)
- 場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- 出席者 来賓、会員、賛助会員
- 内 容

《議事》

- ・ 令和4年度事業報告及び収支決算の承認の件
- ・ 令和5年度事業計画案・予算案の決定の件
- ・ 監事の補充選出の件 ほか

《記念講話、情報提供》

(2) 監査会

- 期 日 4月10日(月)
- 場 所 秋田市 協同組合秋田市民市場
- 出席者 監事、会長
- 内 容 令和4年度事業実施状況及び会計執行状況等について

(3) 役員会

事業計画の実施日程や内容を始め、会員拡大や活動スケジュールなどを検討するため、役員会を随時開催する。

また、令和6年度には「北海道・東北農業法人WEEK2024 in あきた(仮称)」(R6.8.27(火)~28(水))を開催することから、“準備・検討会(仮称)”の設置や実施に向けた開催内容等を検討する。

2 例会の開催

農林中央金庫秋田支店様との共催による専門家や先進農業法人による講演、会員や若手会員の経営事例の紹介をはじめ、会員の相互研鑽や情報交換・交流を図るため、例会を開催する。

併せて、会員以外の法人経営者や地区法人組織会員との交流を通じた組織活動の強化・活性化を図る。

- 第1回 県南地区 7月25日(火)～26日(水) 大仙市・美郷町
- 第2回 県央地区 9月上旬 南秋地区
- 第3回 県北地区 12月上旬 能代山本地区

3 セミナー等の開催

農林中央金庫秋田支店様や日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業様等との共催により、農業法人の抱える課題解決への糸口を探るため、セミナー等を開催する。

(1) トップセミナー [農林中央金庫秋田支店様共催]

農林中央金庫秋田支店様との共催により、日本農業法人協会会員や全国で活躍する

農業経営者等を講師に迎えて、会員のトップマネージャーとしての経営管理能力及び生産技術の向上・発展に向けたセミナーを開催する。

○期 日 6月27日(火) 《総会終了後》

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

(2) **新**農業経営持続化セミナー(仮称) [日本政策金融公庫秋田支店様共催]

日本政策金融公庫秋田支店様との共催により、本県農業が抱える課題解決に向けて、持続的な発展に不可欠な従業員の定着率向上のための経営者の意識改革を図るため、研修・交流会を開催する。

○期 日 11月下旬

○場 所 秋田市

○出席者 会員、若手会会員 ほか

(3) パートナー研修・交流会 [若手会共催]

当協会若手会との共催により、若手会会員や家族並びに従業員による相互研鑽や情報交換・交流を通じた農業経営の発展と組織活動の活性化を図るため、研修・交流会を開催する。

○期 日 2月下旬

○場 所 秋田市

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

4 生産・経営体質強化活動

本協会と協定を締結している機関・団体や農業経営アドバイザーと連携しながら、会員の生産力や経営体質の強化を支援するほか、体質強化手法等について検討する研究会を開催し、その結果を政策提言などに反映させる取組を行う。

また、関係機関・団体等が主催するビジネスマッチングやセミナー・フェア等へ積極的に参加し、経営管理能力の研鑽を図る。

(1) 事業提携

覚書や協定を締結した関係機関・団体と適宜関係者を交えて情報交換を行うほか、連携・協力に関する活動を実施する。

ア 農林中央金庫秋田支店との協力 【随時】

包括的パートナーシップ協定に関する覚書(H27.6)に基づき、円滑な金融対応や人材育成、販路開拓など、会員の経営支援に向けて活動する。

イ 秋田県農地中間管理機構との連携 【随時】

農地中間管理事業の活用促進に向け締結した事業連携協定(H28.7)に基づき、県農地中間管理機構から農地の紹介等を受けるなど、会員の円滑な農地の集積・集約に向けて活動する。

ウ 公立大学法人秋田県立大学との連携・協力 【随時】

県立大学と法人協会との連携・協力に関する協定（H29.9）に基づき、県立大学の研究成果の普及等を通じた会員の生産現場への支援強化や、経営力向上への連携、協力体制の構築に向けて活動するほか、新春放談会（R6.1）を共催いただく。

- 新1年生へ農業法人経営者からの講義 5月1日（月）
- 第9回情報交換会 10月下旬
- 学生（学部3年生、院1年生）との意見交換会 11月29日（水）
- 秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム・構成員
【総会、研究会、幹事会、専門分科会、見学会ほか】

エ アドバイザーによる支援活動 【随時】

金田経営アドバイザー（秋田県立大学名誉教授）による、会員への経営課題の整理・助言など通じた経営力の強化を支援する。

（2）研究会・政策提言

生産・経営体質の強化に向けたマーケティングや経営改善の手法等について研究し、日本農業法人協会の行う政策提言に反映させるとともに、本県農業の施策の展開に向けて県や農業団体等と意見交換を行う。

- ア 県農林水産部幹部との懇談会 8月上旬 秋田市
- イ 全国農業協同組合連合会秋田県本部との情報交換会 11月上旬 秋田市
- ウ 生産強化・経営強化研究会（新春放談会） 1月上旬 秋田市
〔県立大学様共催予定〕
- エ 東北農政局と東北6県農業法人組織会長との意見交換会 2月下旬 仙台市

（3）販路拡大、交流・連携

農畜産物の利用促進と新たなビジネスの可能性を探るため、パートナーシップ協定を締結している農林中央金庫秋田支店をはじめとする賛助会員が主催するセミナー・ビジネスマッチング等や、関係機関・団体と行事を共催し積極的に参加する。

- ア 第16回アグリフードEXPO東京2023 《(株)日本政策金融公庫主催》
「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供するプロ農業者たちの国産農産物・展示商談会に出展した会員を支援する。
 - ◇ 8月23日（水）～24日（木） 東京都・東京ビッグサイト
オンライン出展 5月8日（水）～9月29日（金）
- イ 県産食材マッチング商談会2023
コロナ禍で販売機会の現状を打破するため、県産食品の販路開拓等を目指す農業者とバイヤー等との商談会に参加する会員を支援する。
 - ◇ 7月13日（木） 秋田市・秋田テルサ
- ウ 国内農業視察研修 [若手会共催]
「北海道・東北農業法人WEEK2023 inほっかいどう」の開催に併せて、札幌市近郊農業法人の経営戦略等を学ぶため、視察研修を実施する。
 - ◇ 7月7日（金） 北海道江別市

エ 関係機関・団体との行事共催、交流・連携

◇ 大日本農会秋田支会研修会 [共催予定] 2月中旬 秋田市

5 地域貢献・会員拡大活動

地域貢献の一貫として農業への就業希望者を受入れ、農業技術や経営管理能力を高めるための人材育成に取組ほか、地域で活躍する農業法人を会員へ誘導する。

(1) 組織強化・会員拡大

会員以外の経営者との連携を強化するため、例会等への参加を呼びかけ交流を図るとともに、関係機関・団体等の催事に参加するなどして会員拡大を働きかける。

◇ 会員57経営体(法人54、個人3) 《R5.6.27現在》

(2) 若手会への支援

当協会若手会の会員が、日本農業法人協会が主催する次世代農業サミットなどへの参加に負担とならないよう、経費の一部を助成し支援することを目的に助成金(20万円)を交付するとともに、若手会の自主活動を支援する。

(3) 雇用・人材育成

経営体質の強化に向けた人材育成と地域貢献の一貫として、国の新規就農者育成総合対策事業等を活用して農業への就業希望者を受入れを図るほか、会員で受入れが増えている外国人材の受入れ・共生に関しても検討する。

6 日本農業法人協会秋田県支部活動

日本農業法人協会の秋田県支部として、同協会が行う事業・諸行事に参加・協力し、全国の仲間との情報交換と相互研鑽を積極的に進める。

なお、各種会合は対面での開催を基本とするが、感染症の状況等により開催方法がWeb併用となる場合や、開催を中止する場合がある。

(1) 総会

○第45回 6月15日(木) 東京都

(2) 都道府県会長会議

○第28回会長会議 5月25日(木) 東京都

○第29回会長会議 2月15日(木) 東京都

(3) セミナー等

○事務局会議 4月26日(水) 東京都

○夏季セミナー 6月15日(木)～16日(金) 東京都

(終了後、自主研究会などを開催)

○次世代農業サミット

第11回 7月11日(火)～12日(水)

福島県いわき市・スパリゾートハワイアンズ

第12回 2月8日(木)～9日(金)

東京都・都立産業貿易センター浜松町館

○農業技術・連携革新フォーラム2023 1月～2月

○ファーマーズ&キッズフェスタ2024

3月2日(土)～3日(日) 東京都・代々木公園

○春季大会・春季セミナー 3月14日(木)～15日(金) 東京都

(終了後、自主研究会などを開催)

(4) 都道府県組織等との連携

北海道・東北各県組織との連携強化と若手経営者と国とのパイプ作りを行うとともに、全国の仲間との交流を促進してネットワークの拡大を図る。

○北海道・東北農業法人WEEK2023 in ほっかいどう

7月5日(水)～7日(金) 札幌市・帯広市・江別市

○第20回東北・北海道農業法人協会会長・事務局会議 1月下旬

○若手経営者と農林水産省との意見交換会 東京都・Web併用

【対応者：アグリ川田、藤岡農産、ファーム夢未来、イカワ改拓社、安田農園】

7 情報提供

関係機関・団体の主催する行事を会員へ広く周知するとともに、本協会ホームページで協会活動のPRや会員個々のホームページとのリンク、FCPシートの公開による新たなビジネスチャンスの創出等に取り組む。

新また、新たにSNSを活用した会員同士の交流場《お米LINE〔藤岡副会長〕》を運用する。

併せて、日本農業法人協会ではSNS (Facebook、LINE) で会員の活動や成果等を積極的に情報発信することから、当協会や会員の活動を情報を提供する。

8 会議等への参加

関係機関・団体等の主催する会議に出席し、本協会・農業法人として意見を述べるほか、研修会に積極的に参加し自らの経営のスキルアップを図る。

《委員等への就任：役割を分担》

◇(公社)秋田県農業公社理事 宮川前会長(R3.6～5.6)、桜田会長(R5.6～7.6)

◇秋田県農業再生協議会委員 藤岡副会長

◇秋田県農産物流通販売戦略推進会議 田村副会長

◇秋田県農業経営・就農支援センター(経営戦略会議) 桜田会長

◇秋田米新品種ブランド化戦略本部本部員・部会員 田村副会長

◇秋田県農業労働力サポートセンター委員 桜田会長

- ◇秋田県6次産業化推進協議会 田村副会長
- ◇秋田県普及指導活動における外部評価委員 桜田会長
- ◇農林水産研究イノベーション推進協議会〈県農林政策課〉 藤岡副会長
- ◇秋田県外国人材の受入れ・共生に係る連絡協議会 藤岡副会長
- ◇**新**県アグリフロンティア育成スクール（仮称）検討委員会 桜田会長
- ◇秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム〈県立大学〉 桜田会長
- ◇東北ブロック6次産業化推進行動会議 構成員
- ◇東北地域農業特定技能協議会運営委員会 構成員

9 その他

- ① 活動内容やスケジュールは、役員会で協議する。
- ② 会員の活動への支援や、賛助会員等の各種事業及び催事への協力を行う。

〔 年間主要活動予定表は別紙 〕